



リング外でも大忙しの内藤(左)と、西川・福井県知事を表敬訪問した清水

## 内藤V3戦は 7月下旬に都内で清水と?

WBC世界フライ級チャンピオン、内藤大助(宮田)の3度目の防衛戦が7月下旬、東京都内で予定されているが、その挑戦者として4月14日に吉田健司(笹崎)を判定で破り、日本フライ級新チャンピオンとなったばかりの清水智信(金子)の名前が浮上。吉田対清水戦を親戦後、宮田博行会長がオファーを出し、両陣営が交渉に入っている。

宮田会長は「防衛戦は内藤本人の意向も受けて、北京オリンピック前の7月下旬に予定している。候補だった長縄(正春)選手が引退となったが、日本チャンピオンになった清水選手を第一候補に、日本人対決で国内リングを盛り上げていきたい」とし、さっそく金子ジム側にもオファーを出した。

これを受けた金子健太郎会長は「あり

がたいお話なので、清水本人と相談して、何とか実現に向かいたい」とし、清水も前向きに検討しているという。

4月29日、西川一誠・福井県知事を都内に表敬訪問し、

「ふくいブランド大使」に任命された清水は2度目の世界挑戦に向け「(内藤と)ぜひとも対戦したい」と意欲的なコメント。早ければ5月中に正式発表となりそうだ。